



横浜での起業・経営力アップに役立つ情報レター

NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

IDEC
YOKOHAMA

No.21

春
2017

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23
横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737
<http://www.idec.or.jp>

「横浜からロボットビジネスの発展を！」 チトセロボティクスが最優秀賞

～横浜ビジネスグランプリ 賞金100万円獲得～



最優秀賞受賞の西田亮介氏は、「横浜を世界の工場へ」と熱弁

2月18日、ランドマークホールにて「横浜ビジネスグランプリ2017」を開催しました。最優秀賞は、「最短3分で利用できるロボットのクラウドマネジメントサービス」(チトセロボティクス 西田亮介氏)が受賞、副賞100万円を獲得しました。

横浜ビジネスグランプリは、19回目を迎えるビジネスプランコンテストです。今回は全国から一般部門107件、学生部門38件の合計145件の応募がありました。書類審査とプレゼンテーション審査を通過した一般部門7件、学生部門3件の計10件のファイナリストが最終審査に臨みました。8名の審査員と約200名の来場者・18社の協賛企業を前に、ブラッシュアップを重ねた事業プランをプレゼンテーションしました。審査発表では、林経済局長(横浜市長代理)、IDEC横浜の牧野理事長から各受賞者に賞状が授与されました。

グランプリ受賞の決め手は、今後世界をリードするロボットビジネス!

最優秀賞を受賞した西田氏のプランは「ロボットの知

識がない方でも、ロボットを超高精度に制御・管理できる「クラウドマネジメントサービス」を1時間あたり、398円で提供する」というもの。人間の神経系をアルゴリズム化する発明を行いました。優秀賞には、「ペットの健康・未病対策に関するプラン」(ペットボードヘルスケア社の堀氏)、女性起業家賞は、「高齢者の技術をいかした手編みバックのプラン」(ビヨンドザリーフ社の楠氏)が受賞しました。

【関係者のコメント】

- 今年募集プラン数も多く、事業分野もロボットやIoT関連、農業、漁業と多岐にわたっていた。実現可能性も高いものばかりでレベルが高く、審査に苦労した。協賛の金融機関等も含めて、横浜全体でフォローし、横浜で事業展開していただきたい。(審査委員長 野島廣司氏(家電量販店ノジマ社長))
- ロボットビジネスで、日本は世界から遅れをとっている。ぜひ横浜を世界の工場にしていきたい。(最優秀賞 西田氏)

IDEC 横浜はグランプリに挑戦していただいたプラン実現のために、横浜の企業や大学、金融機関などと連携した“横浜のまち”での支援を行っています。

平成29年度もプラン募集を行いますので、未来を拓く起業家の皆さま、ぜひ横浜ビジネスグランプリに注目してください。



ファイナリストと関係者との記念写真「今年のレベルは高かった」と野島審査委員長(前列左から7番目)

Pick Up

「無料で専門家のアドバイスを受けられます」～ワンストップ経営相談をパワーアップ!～

IDEC横浜では、「経営相談」「創業相談」「女性起業家相談」「法律相談」「税務相談」「労務相談」「IT相談」の各相談窓口に加え、4月から新たに4つの専門相談窓口を開設しています。また、区役所等と連携した「出張相談会」も実施していきます。

「海外ビジネス相談」 ☎045-225-3730

アジアを始めとした海外での販路開拓を視野に入れて事業を展開する中小企業が増えてきています。そこで、海外ビジネスにチャレンジする市内中小企業を支援するため、「横浜グローバルビジネス相談窓口」を開設しました。初めて海外取引を行うにあたっての貿易相談、海外進出を検討する際の調査方法など、ちょっとした疑問・不安にも丁寧にお答えします。専門家による相談を週1回開設、その他の日は担当職員が相談を承ります。

「IoT相談」 ☎045-225-3733

経営とIoTの両面がわかる専門家が、IoTの導入や活用、人材育成、自社製品への応用など、中小企業がIoTに取り組む際の課題に対してアドバイスを行います。

なお、IoTだけでなく技術全般のご相談に関しては、技術アドバイザーの派遣制度(技術相談事業)もご利用いただけます。

「シニア起業家相談」 ☎045-225-3711

地域の新たな経済の担い手として、いま注目されているのがシニア起業家です。そこで、シニア起業を考えられている方々の専門相談窓口を新たに開設しました。人生経験豊



都筑区で開催した出張相談会の様子

富なシニアならではの起業プランの実現に向けて、IDEC横浜がお手伝いします!

「知財相談」 ☎045-225-3711

「自社の特許、商標、意匠など知的財産をどのように保護するか」「他社の知的財産を侵害しないためにはどうしたらよいか」など、ビジネスを行ううえで知財の重要性は年々増えています。このような知財に関わる課題解決を支援するため、日本弁理士会関東支部と連携して知財相談会を定期開催することになりました。相談日はお問合せください。

「ワンストップ経営相談」☎045-225-3711 「どの窓口」に相談したら良いのだろうか?と迷われた際には、まず「ワンストップ経営相談」へご連絡ください。最適な相談窓口をご案内いたします! ぜひお気軽にご利用ください。

ワンストップ経営相談の詳細はこちら <http://idec.or.jp/keiei/madoguchi.php>

問 ワンストップ経営相談 045-225-3711

「海外ビジネスマッチング事例集」をきっかけに海外ビジネスに挑戦しませんか

横浜市内企業が、アジア諸国の旺盛な需要を取り込もうとする取組みのうち、注目の事例を紹介した事例集を作成し、IDEC横浜の窓口などで無料でお配りしています。

この事例集に掲載している企業は、IDEC横浜が、平成28年度に「海外企業ニーズとのビジネスマッチング事業」で支援を行った企業です。IDEC横浜は、アジア6か国(中国、タイ、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、インドネシア)から約180件のビジネスニーズを収集し、横浜市内の中小企業に紹介、海外取引の交渉や契約まで支援を行いました。

収集したビジネスニーズの特徴としては、アジア諸国の消費者マーケットの拡大と成熟を反映して安全・安心・高品質の条件を満たす日本製の生活用品・食品のほか、高齢化の進展から医療・介護福祉・健康に関わるビジネスニーズも多く寄せられました。国別では、中国からの環境関連技術・機器に関するものが多かったことも特徴です。

アジア諸国の旺盛な需要を横浜市内企業のビジネスチャ



事例集で対談を行っているオオハシ(鶴見区)の塩野社長(右)と同社の支援を担当した星名コーディネーター(左)

ンスにつなげるため、平成29年度も引き続きこの事業を実施します。

事例集はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.idec.or.jp/kaigai/matching/> 問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

Pick Up

日独のIoTビジネスモデルで熱い議論

IDEC横浜は、情報処理推進機構(IPA)等との共催で2月27日、特別セミナー「インダストリー4.0で創る横浜のイノベーション」を開催しました。

インダストリー4.0(以下「I4.0」)、モノのインターネット(以下「IoT」)は、生産工程の効率化やITによる高付加価値製品の開発に今後不可欠となっていく技術です。

今回の講演で、ドイツ・フラウンホーファー協会のDr. Damm氏、Dr.Kuhn氏からは、「セキュリティ面に課題はあるもののドイツ産業の活性化に向けた壮大なチャレンジであり、国を挙げて取り組んでいること。また、新たな通信技術に関する具体的プロジェクトが動き出していること」などの話があり、I4.0をベースに構築されつつある「ドイツ製造業の標準化」を実感できる内容となりました。

また、これを受けて、横浜を代表するものづくり企業、IT企業を交えてのパネルディスカッションがあり、各社の考えるIoTと、それをどのようにイノベーションに結びつけていくかの議論が交わされました。



パネルディスカッションではIoTがもたらすイノベーションとその課題について活発な議論が行われた

日本においてもI4.0、IoTは、先進的な中小企業においては導入・活用が始まっています。IDEC横浜では、今回のように時代を先取りしたセミナーをはじめとして、I4.0、IoTを「中小企業の現場」にさらに広く普及するため、様々な取組を行ってまいります。

IoTに関する事業については、技術支援担当まで

問 技術支援担当 045-225-3733

18名の女性起業家が赤レンガ倉庫で1日出店体験 ～来場者・売上は前年の2倍と大盛況～

昨年12月6日、横浜赤レンガ倉庫で開催した、1日限りの出店体験「アントレプルヌーズ(女性起業家)のクリスマスマーケット2016」は、来場者数が前年の2倍、出店した18名の売上は昨年度比2.5倍と、大盛況でした。

●「アントレプルヌーズのクリスマスマーケット2016」とは？

10月、「ネット販売や自宅サロンでのサービスだけでなく、リアルな出店体験をしませんか?」という呼びかけに、18名の女性起業家が集まりました。女性起業家支援チームによる3回の講座で、起業に向けた事業計画作成、集客と販売促進を学び、赤レンガ倉庫で競合店舗や市場価格等の現地調査を行い、SNS等で事前集客を図りながら出店準備を進めました。

チラシ・メールマガジン等でイベントPRをしたほか、IDEC横浜職員が現場でサンタクロースやトナカイに装い、会場への誘導に努めました。



来場者の生の反応が貴重な経験

出店者は講座で学んだことを実践して、クリスマスムードを高める装飾を施したり、陳列した商品・サービスを紹介するポップをつけたり、無料体験コーナーをつくるなど、それぞれ来場者を引きつける工夫をしました。天候にも恵まれ午前中から出足は好調で、各ブースは賑わいを見せました。

出店者にとっては、ネットとは違う値引きの駆け引きなど、消費者からの反応がじかにある緊張感が、実店舗ならではの体験となったようです。

イベント終了後、最終回の決算報告会で、各自の売上・利益の発表を行い、出店者の半数が売上目標を達成しました。

支援チームの講師からは、今回のイベントだけで終わらせず、講座で学んだPDCAサイクルを意識して今後につなげるようにと、メッセージが贈られました。

【出店者の声】

- ビジネスプランの作成から、実施報告まで、大変内容の濃い講座でした。指導いただける先生方や励まし合える仲間にも恵まれ、有意義な時間でした。
- 販促と集客の資料など、細かいところが良くわかり、大変参考になりました。ビジネスプランの作成から、実施報告まで、大変内容の濃い講座でした。

平成29年度も赤レンガ倉庫に出店予定です。女性起業家の皆様のチャレンジをお待ちしています。

女性起業家支援チームの詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/woman/support.php>

問 経営支援担当 045-225-3714

■ 各種イベントのお知らせ

2017.4～6

イベント名 / 会場	日程 / 時間
起業チャレンジセミナー / IDEC横浜大会議室 創業に必要な知識や経営者としての心構えについて解説するセミナーです。創業を志す方に最初に受講して欲しいセミナーです。	4月7日(金) 14:00～16:00
MEDTEC Japan2017 / 東京ビッグサイト 東4・5・6ホール 横浜パビリオンを出展します。パビリオンでは、横浜企業が医療・健康福祉分野での応用が見込める各種部材や技術などを展示します。	4月19日(水)～21日(金) 10:00～17:00
自社HPIに「足りないもの」とは? ～Webツールの使い分けを整理し、「お客様目線」のHPIに変革する方法～ / IDEC横浜大会議室 どのようにWEBを活用すれば売上アップや経営改善につながるか、上手にWEBを活用していく進路を学べる講座です。	4月24日(月) 15:00～17:00
先輩起業家に聞こう!セカンドキャリアで起業という選択 / IDEC横浜大会議室 50歳以上で起業を考えている方を対象に、先輩起業家が創業期の体験談をお話します。実体験を通じて、創業の現実を知るセミナーです。	5月27日(土) 14:00～16:00
起業チャレンジセミナー / IDEC横浜大会議室 創業に必要な知識や経営者としての心構えについて解説するセミナーです。創業を志す方に最初に受講して欲しいセミナーです。※4月7日(金)に開催するセミナーと同じ内容です。	6月7日(水) 14:00～16:00

その他多数のイベントを開催しています。詳細はウェブをご覧ください。

IDEC 横浜

検索

オフィスに! ラボに!

横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア

- **事業拡大にできる余裕の広さ!**
・65㎡～126㎡、多様なスペース
- **研究・開発・連携に好立地!**
・ウエット仕様、実験レベル「P2」対応
- **専門家の無料アドバイス!**
・経営相談・技術相談・海外展開等支援

● アクセス

金沢シーサイドライン
「産業振興センター駅」から徒歩1分
首都高速湾岸線「幸浦ランプ」2分、
横浜横須賀道路「並木IC」4分
金沢区福浦1-1-1
Tel.045-788-9570

入居者
募集中



その他の施設の詳細はIDEC横浜ホームページ <http://www.idec.or.jp/>「施設案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。詳細は、施設経営担当 **問 045-225-3710** まで。

■ IDEC横浜上海事務所レポート 中国市場展開のポイント -中国企業の事業提携パターンから考える-

上海事務所 副所長 岩田 健

中国企業からよく「日本に出張するので、なにか良い技術を持つ企業を紹介してほしい」と言われます。しかも水処理分野、金属加工分野など、かなり幅広い範囲で、具体的なニーズが無いこともしばしばです。

こうした企業は、具体的なプロジェクトのための技術を探しているのではなく、将来の事業展開に備え、革新的技術や事業分野があればそれを取り込んでいきたいのです。

一方で、多くの優れた横浜企業は特定分野に集中してノウハウを蓄積しています。例えば水処理なら「有機廃水の生分解技術」などです。このため、以前から私は、中国側か

ら具体的なニーズを提示してほしいとっていました。

しかし、提示を待つばかりではなく、日本側がこのような中国企業をどのように活用できか考えるのも一案だと思います。

そこで、中国企業が、日本の技術連携先を探す方法とM&Aや事業提携など連携のパターンについて、中国国内外の法務をはじめ、先端技術関係に実績のある、京衡弁護士事務所の尹楠弁護士の専門家コラムをIDEC上海事務所ホームページに掲載しました。

中国での事業展開を考える際にご一読いただければと思います。



京衡弁護士グループのシニアパートナー
尹楠弁護士

上海事務所
<http://idec.or.jp/shanghai/>

編集
後記

新年度がスタートしました。本紙でも取り上げていますが、平成29年度からIDEC横浜では、相談窓口の一本化など市内中小企業に寄り添う「基礎的な支援機能」の充実を図るとともに、IoTの導入や海外展開支援など、「将来を見据えた支援機能」を強化します。横浜経済の活性化と地域社会の健全な発展のため、中小企業にとってベストサービスを心がけ、職員一同、組織の総合力をいかした支援に一層注力してまいります。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。